

③ マダイ変形魚の除去実施研修会 7月22～23日 栽培漁業センター

種苗出荷までに栽培漁業センターでの変形魚の除去の可否及び変形除去作業が中間育成に与える影響を検証するため、研修と実験を行った。



(4) 水産振興部会協議会

開催日		開催会議	
4月	25日	石見西部地域水産振興部会幹事会	(浜田市)
5月	14日	石見西部地域水産振興部会総会	(浜田市)
5月	16日	隠岐島前地域水産振興部会総会	(西ノ島町)
6月	25日	石見東部地域水産振興部会総会	(大田市)
10月	16日	出雲西部地域水産振興部会総会	(出雲市)
2月	13日	隠岐島前地域水産振興部会幹事会	(西ノ島町)
3月	4日	石見西部地域水産振興部会幹事会	(浜田市)

(5) 放流効果調査 (集計期間 平成25年1月1日から平成25年12月31日まで)

① 調査実施

隠岐の島町・西ノ島町・大田市・浜田市の各市場において、ヒラメ、マダイの放流効果調査を96回行った。

② 結果

ヒラメは、4,652尾を測定し、無眼側黒化の放流目印のついた魚を138尾確認した(混獲率3.0%)。放流ヒラメは、胸鰭基部や尾柄に黒色斑のあるものと、ないものが存在しており、天然魚と区別できない放流ヒラメが存在する。さらに漁獲したヒラメには放流年次の異なるものが混在している。したがって、より混獲率の精度を高めるため、年齢組成、黒化率で補正を行った。結果、ヒラメ放流魚の混獲率は6.7%であると考えられる。

マダイは、1,963尾を測定し、そのうち鼻孔連結魚を93尾確認した(混獲率4.7%)。

また、放流魚の生殖腺の成熟を確認していることから、漁獲されていない放流魚の多くは、産卵行動を行い天然資源の増大に寄与していると考えている。

市場調査結果

調査場所	対象	魚種	調査内容			
	漁法		調査回数(回)	調査尾数(尾)	黒化魚(ヒラメ)鼻孔連結魚(マダイ)(尾)	混獲率(%)
隠岐の島町西郷	定置網・刺網	マダイ	3	22	2	9.0
西ノ島町浦郷	定置網・刺網・一本釣	マダイ	55	1,941	91	4.7
大田市和江	小型底曳網	ヒラメ	7	1,707	45	2.6
浜田市元浜	沖合底曳網	ヒラメ	31	2,945	93	3.2

平成 25 年度放流直前黒化判定

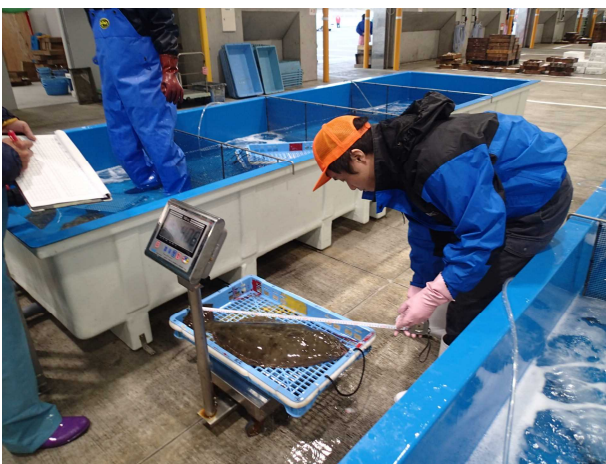
育成施設	正常	軽度	中度	重度
和江 (%)	1.3	28.2	19.2	51.3
浜田 (%)	4	43	26	27
三隅 (%)	1.8	18	32.4	47.8
益田 (%)	1.8	29.4	16.5	52.3



ヒラメ無眼側黒化の確認 (浜田市)



ヒラメ無眼側黒化の確認 (大田市)



ヒラメの全長測定 (大田市)



マダイ鼻孔連結の確認 (隠岐の島町)